

## 平成 27 年 海上保安 10 大ニュース

平成 27 年海上保安を巡る主な出来事について、海上保安官に対しアンケートを行い集計した結果、下記のとおりとなりましたのでお知らせ致します。

順位	項目	時期
1	天皇皇后両陛下のパラオ共和国御訪問 巡視船「あきつしま」に御宿泊	平成27年4月
	平成27年4月8日及び9日、戦後70年にあたり、戦争によって亡くなられた人々を慰霊し、平和を祈念するため、また、我が国とパラオ共和国との友好親善にかんがみ、天皇皇后両陛下が同国をご訪問された。両陛下のご訪問に際し、海上保安庁の巡視船を両陛下の御宿泊場所とすること等について宮内庁からの要請があり、海上保安庁では巡視船「あきつしま」をパラオ共和国に派遣した。	
	 	
2	中国船長を逮捕 サンゴ密漁 罰則強化後初	平成26年11, 12月
	中国船によるサンゴ密漁問題で、外国人による我が国の領海内や排他的経済水域（EEZ）内での違法、無許可操業に対する罰則を強化する改正法が成立し領海内での違法操業への罰金は400万円以下から、EEZ内での無許可操業は1000万円以下から、それぞれ最高3000万円以下に引き上げられた。 同改正法成立後初の摘発事例として、平成26年12月21日には、横浜海上保安部により伊豆諸島・鳥島沖の日本領海内で違法操業していた中国のサンゴ漁船の方東兵船長を「外国人漁業の規制に関する法律」違反（領海内違法操業）容疑で現行犯逮捕し、平成27年5月27日には、懲役1年罰金1000万円以下の判決が下った。	
	 	
3	関東・東北豪雨災害 海保 107人を救助	平成27年9月
	平成27年9月10日、茨城県常総市で、鬼怒川の堤防が決壊したことを受け、近隣の管区本部から、特殊救難隊員、機動救難士を同乗させたヘリコプターを発動し、10日から12日までにかけて、県や関係機関と連携の上、茨城県及び宮城県において、民家などに孤立した住民計107名の方々を救助した。今回の対応においては、延べ、ヘリコプター17機、特殊救難隊員14名、機動救難士25名を現場へ派遣した。	
	 	



4	口永良部島で爆発的噴火 巡視船・航空機により島民を救助	平成27年5月
<p>平成27年5月29日午前9時59分頃、鹿児島県口永良部島新岳で爆発的噴火が発生。同日午前10時7分、口永良部島に噴火警報（噴火警戒レベル5、避難）発表。官邸対策室、本庁対策本部、十管区対策本部設置。巡視船艇、航空機等により、島民の救助、関係機関職員の輸送、被害状況調査、物資支援、警戒監視等を実施した。避難住民総計137名（全員）。</p>		
		
5	海保関係の27年度予算案 214人 定員最多に 総額は1876億円 「尖閣領海警備専従体制」の確立	平成27年1月
<p>政府は平成27年1月14日の臨時閣議で、平成27年度予算案を決定した。海上保安庁関係の予算総額は、1876億4800万円で、26年度当初予算に比べて2%の増加となった。定員の人員費は435人増が認められ、各省庁振り分けの定員合理化分（221人）を引いた実績増加は214人となり、同庁定員は創設（昭和23年）以来、最多の1万3422人となる。予算案の内訳は、尖閣諸島の「領海警備専従体制」の確立するための予算、中国公船の増加など、更なる情勢の変化にも対応するための予算、「隙のない海上保安体制の構築」を行うための予算などがあげられる。</p>		
6	北海道苫小牧沖フェリー火災 乗員1人死亡 乗客全員退船 救助	平成27年8月
<p>平成27年7月31日午後5時40分ころ、北海道苫小牧市沖の南西約55キロの太平洋で、商船三井フェリー「さんふらわあ だいせつ」（1万1401トン）の車両甲板から火災が発生。消火作業に当たっていた乗組員1名を除く、乗客乗員ら92名は付近を航行中のフェリーや巡視船艇に救助された。行方不明になっていた二等航海士は3日午前、船内捜索に当たった特殊救難隊が発見、その後死亡が確認された。</p>		
		
7	中国さんご漁船船長を現行犯逮捕	平成27年10月
<p>平成27年10月17日、長崎海上保安部巡視船「でじま」及び五島海上保安署巡視船「ふくえ」が、本邦排他的経済水域内で中国漁船を発見、立入検査をするため停船命令を実施し、同船はこれに従わず逃走したため、翌18日同船の船長を女島灯台の西南西約170キロメートルの海上において「排他的経済水域における漁業等に関する主権的権利の行使等に関する法律」違反（立入検査忌避）で現行犯逮捕した。</p> <p>平成27年10月30日、串木野海上保安部巡視船「とから」が、鹿児島県屋久島西方の本邦排他的経済水域で中国漁船を発見、立入検査をするため停船を実施、同船はこれに従わず逃走したため、屋久島西方約144キロメートルにおいて、同船の船長を、「排他的経済水域における漁業等に関する主権的権利の行使等に関する法律」違反（立入検査忌避）で現行犯逮捕した。</p>		

8	<b>特殊救難隊発足40周年 横浜で記念式典 石井国土交通大臣をはじめ約250人が出席</b>	平成27年10月
<p>特殊救難隊が平成27年10月で発足40周年を迎え、23日に横浜で記念式典が行われた。石井国土交通大臣は、この日初めて海上保安庁の業務を視察した後、同記念式典に出席した。このほか、発足メンバーだった海上保安官OBや現役の特殊救難隊隊員など約250人が出席。</p>		
		
9	<b>伊勢志摩サミット開催決定 海保が6月5日「海上保安庁サミット等海上警備準備本部」設置</b>	平成27年6月
<p>平成27年6月5日、2016年の主要国首脳会議（サミット）の開催地に三重県志摩市が決まったことを受け、海上保安庁は全庁一丸となって、準備作業を進めるための「海上保安庁サミット等警備準備本部」を、四管区本部では「第四管区海上保安本部サミット等海上警備準備本部」を同日設置した。開催地の決定は、外遊出発前の安倍晋三首相が同日、羽田空港で記者団に表明し、「伊勢志摩サミット」と名づけた。</p>		
10	<b>映画「S」に海保協力「あきつしま」やSST登場</b>	平成27年8月
<p>海上保安庁の「あきつしま」や「まつなみ」などの巡視船艇が平成27年8月29日から全国ロードショーの東宝映画「S - 最後の警官 - 奪還 RECOVERY OF OUR FUTURE」に登場した。映画での海保の撮影協力は2012年7月公開の「BRAVE HEARTS海猿」および同年11月公開の「北のカナリアたち」以来。「S - 最後の警官」は「海猿」の原案者でもある小森陽一氏の原作、藤堂裕氏の作画で「ビックコミック」（小学館）に連載中。</p>		